

神戸市会議長
北川 道夫 様

平成30年5月11日

日本維新の会神戸市会議員団
幹事長 外海 開三

議員定数改正に関する要請書

今般、代表者会議において議員定数改正について議論されるとのことで、我が会派からも意見を申し上げ定数改正を要請いたします。

まずは、各区の区別議席定数調整を行う前に現在の全体定数（69名）が適正かどうか検討する必要があると考えます。議員定数の適正は様々な点から考慮される必要があるとは思いますが、次の2点において検討するものとします。

まず1点目は、本市の人口減少要因による定数削減と近隣同規模自治体比較の点から検討するのが相応しいという観点より、人口同規模自治体の福岡市（平成30年4月現在、1,570,095人）の議員定数が62名で議員一人当たりの人口割合は、25,324人です。次に、川崎市（平成30年3月現在、1,492,038人）の議員定数が60名で議員一人当たりの人口割合は24,867人で、本市（平成30年4月現在、1,527,481人）の議員一人当たりの人口割合は、22,137人で人口同規模自治体と比較しても、議員数が多いのは明らかです。上記の2つの自治体平均値は議員一人当たり人口約25,000人になり、本市に当てはめると議員定数61名が適数になります。現在の69名から比較すると8名減となりますが、急激な削減を避け段階を経ての削減を行い、人口一人当たり比較で約3,000人の差の1/2の数値1,500人増での検討（議員一人当たり23,637人）とすれば、適正定数は64.6名で4名減となります。

2点目は、議会不信要因から考慮する必要があります。昨年度、神戸市会では自民党系議員の政務活動費の詐欺事件により4名もの辞職者を出しました。そして、このことを起因として補欠選挙が行われ、我が会派所属議員も2名が議員定数削減を訴え当選いたしました。この選挙結果より、多くの市民は議員定数削減を望んでいます。

以上の2点より、現在の議員総定員数69名より4名削減を適正と考えます。それに伴い、適正な各区の議席定数設定を要請いたします。

以上